

LPガス国際セミナー2010報告

エルピーガス振興センターは、つぎのとおり、『国際セミナー2010』を開催いたしました。

日 時 : 平成22年2月25日(木)～26日(金)

場 所 : 第一ホテル東京(新橋)

テーマ : 転換期を迎える世界経済の中での新たなLPGの役割

参加国等: 英国 ポーテン&パートナーズ社、中国 広東油気商会、
デンマーク マースク・タンカーズ、アブダビADNOC社、韓国LPG協会、インド石油公社、
サウジ・アラムコ、ペトロベトナム・ガス、SHV ガス、世界LPガス協会

参加者 : 約460名

内 容 : 基調講演、日本側・海外招聘者の講演、個別&総括質疑応答

(概 要)

今年のセミナーは、日本側を含め講演数13、聴衆は460名超でした。ポーテン&パートナーズのコリン・シェリー氏の基調講演に始まり、日本側からはMETIと日本エルピーガス協会が日本のLPガス政策と低炭素社会の実現達成のための業界の活動をそれぞれ発表し、産ガス国側からはサウジアラビアのアラムコ社、アラブ首長国連邦のアドノック社が、それぞれLPガス生産の安定供給と顧客志向の姿勢を披瀝した。一方、消費国からは中国の広東油気商会、韓国LPG協会およびインド石油公社が、それぞれ中国のLPG LNG DME 供給と需要の動向、韓国のオートガス政府支援政策と環境保全、インドの農村部へのLPG普及を説明した。この他、インペックスによる豪州イクシス・プロジェクトの開発状況とLNGとLPGの生産展望、ペトロベトナムによるLPG消費急拡大の話があった。マースク・タンカーズからは海運市況は底を脱し景気は回復するとの明るい観測もあった。SHV ガスの多国籍販売活動 リポジショニングによりLPGを「選ばれる」エネルギーにするは示唆に富む内容であった。WLPGA はその存在意義を強調、exceptional energy (卓越したエネルギー)LPGの世界的推進母体であることを強調した。また、国際会議などでLPG普及のロビー活動を推進しているとのこと。なお、今回は消費者代表として三村光代様にセミナーの感想とLPG業界に対する貴重なご意見を頂いた。

本セミナーは、皆様のご支援により、本年も成功裡に閉幕することができました。また、本セミナーにご尽力頂きました関係者各位に感謝いたします。

会場の風景

満員の本会場



熱心なオーディエンス



プレゼンター

基調講演

ポータン&パートナーズ

コリン・シェリー氏



サウジ・アラムコ

アリ・アル・マスード氏



質問者



消費者代表



なお、次回の「LPGガス国際セミナー」は、平成23年2月24日～25日に開催する予定です。